

4. エコツーリズムフォーラム

第3回エコツーリズムフォーラム2014

～瀬戸内海国立公園指定80周年を迎えて～
瀬戸内海の活性化に向けた新たな展開...
エコツーリズムの果たす役割



4. エコツーリズムフォーラム

第3回 エコツーリズムフォーラム 2014

Ecotourism Forum third 2014

～瀬戸内海国立公園指定80周年を迎えて～

瀬戸内海の活性化に向けた新たな展開 . . .
エコツーリズムの果たす役割

開催日: 2014年 3月 8日(土)

13:00-16:30 (開場12:30)

会場: リージャス ひろしまハイビル21

(広島市中区銀山町3-1)

定員: 100名(事前申し込み制)

参加費: 無料(資料代1,000円/希望者のみ)

主催: 瀬戸内ツーリズム推進協議会
構成: 広島県、呉市、廿日市市、
(一社)瀬戸内海エコツーリズム協議会

後援: 環境省中国四国地方環境事務所
EPOちゅうごく(環境省 中国環境パートナー
シップオフィス)
中国経済連合会
NPO法人日本エコツーリズム協会
一般社団法人 日本旅行業協会
中国新聞社
学校法人鶴学園広島工業大学
学校法人ひらた学園IWAD環境福祉専門学校

協力: NPO法人 自然環境ネットワークSAREN
NPO法人 自然と釣りのネットワーク
日本ミクニヤ株式会社
総合技研株式会社
ひろでん中国新聞旅行株式会社
株式会社近畿日本観光中国四国
株式会社グローバルコスモ

● プログラム ※プログラムは変更する場合がございます。

来賓御挨拶 築島 明 環境省中国四国地方環境事務所 所長

■ 第1部 「国内外のエコツーリズム活動の実態」

活動報告
「瀬戸内ツーリズム推進協議会活動及びフランス視察報告」

上嶋 英機 瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長(広島工業大学教授)

基調講演

「フランス国のエコツーリズムの実態」

イザベル・デュフ Izabel Deuff フランス観光開発機構 副代表

■ 第2部 パネルディスカッション

「瀬戸内海の活性化に向けた新たな社会システムの構築とエコツーリズム活動が果たす役割」

～瀬戸内海国立公園を基軸とした活用と維持～

コーディネーター 上嶋 英機 瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長(広島工業大学教授)

パネリスト イザベル・デュフ Izabel Deuff フランス観光開発機構 副代表

戸田 常一 広島大学大学院社会科学部 教授

市原 信男 (一社)瀬戸内海エコツーリズム協議会顧問(元 環境省中国四国地方環境事務所 所長)

山城 滋 中国新聞社 編集局長

藤本 正明 NPO法人自然と釣りのネットワーク 理事

閉会挨拶 富田 厳種 広島県商工労働局海道のプロジェクト・チーム 担当課長

※フォーラム終了後、会場近く(京橋川沿い)のカフェテラスで、オープンな雰囲気でお茶を飲みながら交流を促します。
是非、ご参加ください!(17:00-19:00 参加費5,000円)

※会場までのアクセス、お申込方法、お問合せは裏面をご覧ください。

※このフォーラムは、環境省平成25年度エコツーリズム地域活性化支援事業の一環として、運営しております。

日時: 平成26年3月8日

13:00～16:30

場所: リージャスひろしまハイビル21

参加費: 無料

参加人数: 約100名(関係者含む)



4. エコツーリズムフォーラム



主催

瀬戸内ツーリズム推進協議会

構成：広島県・呉市・廿日市市・（一社）瀬戸内海エコツーリズム協議会

後援

環境省中国四国地方環境事務所／EPOちゅうごく（環境省中国環境パートナーシップオフィス）／中国経済連合会／NPO法人日本エコツーリズム協会／一般社団法人日本旅行業協会／中国新聞社／学校法人鶴学園広島工業大学／学校法人ひらた学園 I W A D 環境福祉専門学校

協力

NPO法人自然環境ネットワークSAREN／NPO法人自然と釣りのネットワーク／日本ミクニヤ株式会社／総合技研株式会社／ひろでん中国新聞旅行株式会社／株式会社近畿日本ツーリスト中国四国／株式会社グローバルコスモ



4. エコツーリズムフォーラム

瀬戸内海の自然・文化・歴史... 守り、育むエコツーリズム

本協議会は、「瀬戸内海の生態系景観を見つめ、自然と文化を探り、多様な自然を守る」ことを理念として活動しています。

また、エコツアーを構築、実践することで、自然環境の保全・人材の育成・地域振興・新たな観光ビジネスの創生を目指しています。

第3回エコツーリズムフォーラムでは、協議会が掲げる理念や具体的な活動内容を地域の皆様方に広く知っていただくこと、また、瀬戸内海が国立公園に指定されてから80周年を迎えることを契機に、瀬戸内海の活性化を促す新たな社会システムのあるべき姿を議論し、その中で、エコツーリズム活動が果たす役割や貢献を考えることを狙いとしています。

本フォーラムが瀬戸内海におけるインタープリターの育成や、エコツーリズムネットワークの拡大に繋がることを願っております。



Program

13:00

13:15

■オープニング

開会挨拶 **上嶋 英機** 瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長(広島工業大学教授)
来賓挨拶 **築島 明** 環境省中国四国地方環境事務所 所長

13:15

14:30

■第1部 「国内外のエコツーリズム活動の実態」

活動報告
「瀬戸内ツーリズム推進協議会活動及びフランス視察報告」
上嶋 英機 瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長(広島工業大学教授)

基調講演
「フランス国のエコツーリズムの実態」
イザベル・デュフ フランス観光開発機構 副代表

■第2部 パネルディスカッション

「瀬戸内海の活性化に向けた新たな社会システムの構築と
エコツーリズム活動が果たす役割」
～瀬戸内海国立公園を基軸とした活用と維持～

コーディネーター **上嶋 英機** 瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長(広島工業大学教授)
パネリスト **イザベル・デュフ** フランス観光開発機構 副代表
戸田 常一 広島大学大学院社会科学部 教授
(一社)瀬戸内海エコツーリズム協議会 顧問
(元 環境省中国四国地方環境事務所 所長)
山城 滋 中国新聞社 編集局長
藤本 正明 NPO法人自然と釣りのネットワーク 理事

16:20

16:30

■クロージング

閉会挨拶 **富田 巖穂** 広島県農工労働局海の道アロワワセンター 担当課長

17:00

19:00

■交流会

(注:フォーラム終了後、会場近く(京橋川沿い)のカフェテラスで、オープンな雰囲気
で交流会を開催いたします!是非、ご参加ください!(17:00-19:00 参加費5,000円!)

Profile



イザベル・デュフ Izabel Deuff フランス観光開発機構 副代表
フランス、フルターニュ地方生まれ。1999年パリ政治学院卒業。1999年から2001にかけて日本で留学。その後2年間、在韓フランス大使館経済部でマーケティング&コミュニケーション部門に従事した後日本に戻り、2006年よりフランス政府観光局にプロモーション・デベロップメントとして就任。2010年には副代表に就任し現在に至る。主たる職務は、日本市場におけるフランスのプロモーション展開である。一般、業界およびプレス向けのマーケティング、並びに市場動向の調査分析を担当している。



戸田 常一 Toda Tsunekazu 広島大学大学院社会科学部 教授
1951年、大阪市生まれ、工学博士。京都大学工学部助手・講師・助教授を経て、平成元年創設の広島大学・地域経済研究センターに赴任。現在は、マネジメント専攻に所属し、地域政策、地域振興の教育・研究に従事する。日本地域学会や瀬戸内海研究会などの学会・団体役員(理事)、広島県国土利用審議会や東広島市都市計画審議会の委員(会長)などを務める。著書として、『瀬戸内海を里海に―新たな視点による再生方策―』(2007)、『瀬戸内海の文化と環境』(1999)(共に分担執筆)などがある。



市原 信男 Ichihara Nobuo (一社)瀬戸内海エコツーリズム協議会 顧問
(元 環境省中国四国地方環境事務所 所長)
1953年東京生まれ。東京教育大学理学科卒業。1976年環境庁入庁。全国の国立公園等に勤務。米国立公園局1年間派遣。1999年国連持続可能な開発委員会での「持続可能な観光開発(エコツーリズム)」に関する国際ワークショップに参加。その後、民間活動支援官を経て、山陽四国地区自然保護事務所(元中国四国地方環境事務所)の4年、瀬戸内海国立公園指定70周年及び各種事業を指揮。2010年中部地方環境事務所として、名古屋での生物多様性条約COP10を終え、2011年からアジア航測(株)にて、全国の自然環境調査等を担当。



山城 滋 Yamashiro Shigeru 中国新聞社 編集局長
山口県生まれ。1975年に中国新聞社に入社し、編集委員室長、論説主幹、防長本社代表を経て2014年3月から編集局長。自治、瀬戸内海、農業・農村問題などをテーマに取材活動をしてきた。2007年には、取材チームをつつて「ムラは問う」を連載し、農の風景が縮小する農村の現状を報告した。



藤本 正明 Fujimoto Masaaki NPO法人自然と釣りのネットワーク 理事
1954年、山口県柳井市に生まれる。大学卒業後、昭和52年4月から山口県小学校教員、青年の家職員を経て、平成22年3月に退職する。その間、スキー指導員、キャンプ指導員として野外活動の指導に携わる。平成18年にスキューバダイビングを始め、周防大島の二ホムアワサギが生息する海域の保全や地域振興に取り組み。平成25年2月には周防大島南沖が瀬戸内海初の海城公園(周防大島海城公園)に指定される。現在、NPO法人自然と釣りのネットワーク、NPO法人海業研究会の理事を務める。



上嶋 英機 Ueshima Hideki 瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長
1944年、福井県教育市生まれ。工学博士。1972年、通商産業省工業技術院の国立研究所に入所(現・産業技術総合研究所)以来、瀬戸内海の環境研究に従事。2005年より広島工業大学大学院教授にて現職。2010年、「一社団法人瀬戸内海エコツーリズム協議会」理事長に就任。2011年、「瀬戸内ツーリズム推進協議会」会長に就任。所属団体に、「一社団法人大坂湾環境再生研究所・国際人材育成コンソーシアム・コア」理事長、「宮島ラマール条約連絡協議会」会長など。

【瀬戸内ツーリズム推進協議会の活動】

- 瀬戸内海国立公園における「瀬戸内海エコツーリズム」の構築事業
事業化の促進を図るため、エコツアーの本格的実施を行っています。
・宮島エコツアー(外国人旅行者向け・国内旅行者向け)
・安芸灘諸島エコツアー
・防予諸島エコツアー
- エコツーリズムのための人材育成事業
人材の養成研修「エコ塾」の充実を図るため、養成研修の実践的運用をおこなっています。
- エコツーリズムのためのインフラ整備計画事業
エコツーリズムのためのインフラ整備について、検討・提案を行っています。
・エコツーリズムビジターセンターの機能提案
・未利用施設の活用による地域振興策の提案
・ネットワークの構築のためのインフラ整備提案



当日配布のパンフレット

4. エコツーリズムフォーラム

第1部 「国内外のエコツーリズム活動の実態」



「瀬戸内ツーリズム推進協議会活動 及びフランス視察報告」

上嶋 英機 瀬戸内ツーリズム推進協議会会長



「フランス国のエコツーリズムの実態」

Izabel Deuff フランス観光開発機構在日副代表



4. エコツーリズムフォーラム

第2部「パネルディスカッション」

**「瀬戸内海の活性化に向けた新たな社会システムの構築
とエコツーリズム活動が果たす役割」
～瀬戸内海国立公園を基軸とした活用と維持～**



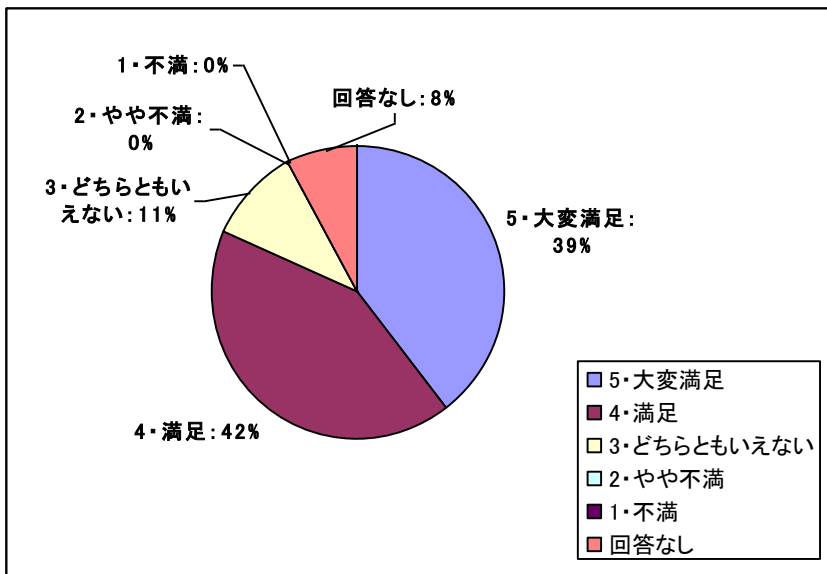
コーディネーター：上嶋 英機 瀬戸内ツーリズム推進協議会会長
パネリスト：Izabel Deuff フランス観光開発機構在日副代表
戸田 一常 広島大学大学院社会科学研究科教授
市原 信男 瀬戸内海エコツーリズム協議会顧問
山城 滋 中国新聞社編集局長
藤本 正明 NPO自然と釣りのネットワーク理事



4. エコツアーリズムフォーラム

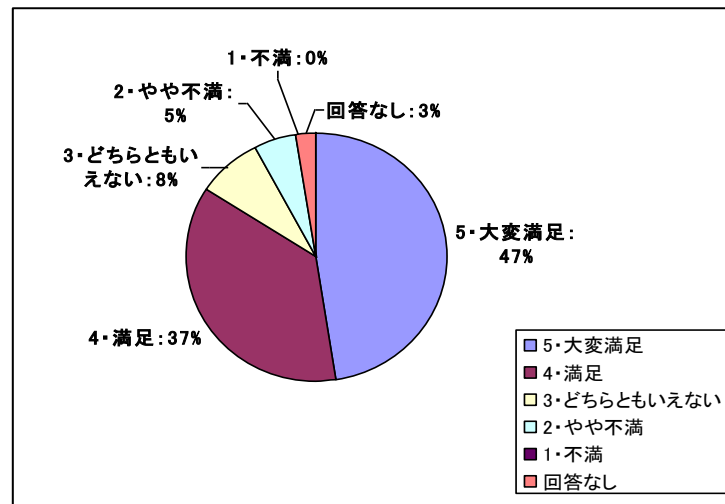
参加者の声 (アンケート回答数: 38)

総合評価

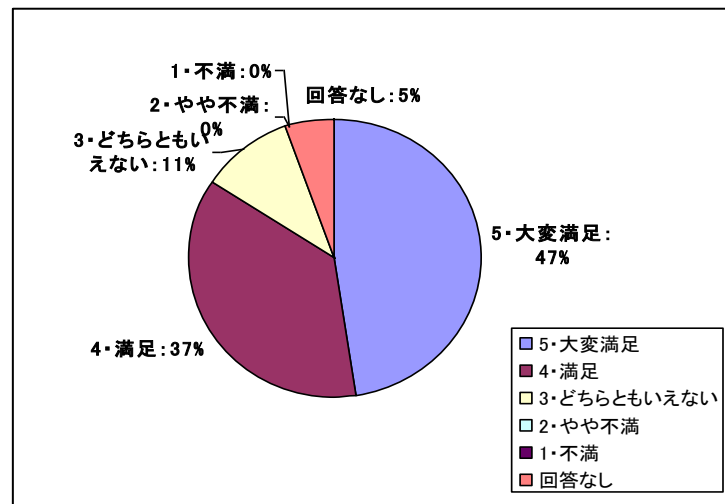


約8割の方々に満足頂いた。

第1部



第2部



4. エコツーリズムフォーラム

参加者の声 (アンケートの回答より抜粋)

良かった点

- 先進的なフランスのエコツーリズムの実態を聞いた点。
- 地域社会の課題解決に役立つところ。
- 若い人の人材育成の重要性。
- 様々な切り口で、多角的にエコツーリズムを考えられた。

改善してほしい点

- 登壇者と参加者とのコミュニケーションの時間がほしかった (質疑応答)。
- 実際に島に住んでいる方やエコツアーを受け入れる側の声を聞きたかった。
- 自治体の担当の立場から、課題や今後の取り組みを聞きたかった。

その他

- 瀬戸内海への熱い思いが伝わってきた。今後も連携していきたい。
- 今回初めての参加し、改めて気付くことが多くあった。エコツーリズム=体験学習なのかと考えていたが、十分、旅行商品になるのではと感じた。

